

No.	教材名	分野	制作年度	上映時間(分)	制作	内容
1	バースデイ	人権	令和4年度	37（DVD）	東映株式会社	「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」をテーマとする人権啓発ドラマ。主人公・美由紀は、娘だと思ってきた笑花（尊）から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺する。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀だが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとする。
2	言葉があるから…	人権	令和5年度	31（DVD）	東映株式会社	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」をテーマとしたドラマ。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがある。自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを描いている。
3	大切なひと	人権	令和5年度	34（DVD）	東映株式会社	「ネット社会における部落差別と人権～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～」がテーマの人権啓発ドラマ。主人公・愛依は、学友の大哉がインターネットに投稿する動画が、被差別部落について差別的であることに気づきながらも言い出せずにいた。幼少期に可愛がってもらった綾女の住居が動画内において差別を助長する内容で晒されたことをきっかけに、愛依は動画を削除するよう告げ、過去に綾女にしてしまった差別につながるような自らの過ちとも向き合う。
4	破戒	人権	令和4年度	119（DVD）	東映株式会社	島崎藤村の名作「破戒」を60年ぶりに映画化した作品。瀬川丑松は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。
5	君は、ひとりじゃない ～SOSの出し方、知っていますか～	人権	令和4年度	18（DVD） 字幕・副音声あり	株式会社映学社	「児童・生徒の自殺防止とSOSの出し方」教育シリーズのうち、小学校中・高学年向けの作品。生きづらさを抱えている子どもたちに向け、SOSの出し方や、誰かに助けを求める方法など、再現ドラマによる事例を紹介している。
6	語り継ぐ 大阪大空襲①	その他	令和3年度	30（DVD） 字幕あり	新聞うずみ火	大阪大空襲の体験者の証言をまとめたDVD。証言するのは、生まれて2時間後に第1次大阪大空襲（1945年3月13～14日）に遭い、左足に大やけどをした大阪市東住吉区の藤原まり子さん。第1次大阪大空襲で、難波周辺の自宅が全焼し、両親ときょうだい3人、同居していた叔父家族4人の計9人を亡くした大阪府田尻町の吉田栄子さん。第3次大阪大空襲（45年6月7日）で母と兄、妹、弟の4人を亡くした、両親が日本統治下の朝鮮半島出身の滋賀県野洲市の在日コリアン2世の鄭末鮮さん。
7	語り継ぐ 大阪大空襲②	その他	令和4年度	38（DVD） 字幕あり	新聞うずみ火	大阪大空襲の体験者の証言をまとめたDVD。証言するのは、1945年7月10日の堺大空襲（第6次大阪大空襲）で母親と3歳の弟を亡くした大阪府茨木市の浜野絹子さん。12歳の時に第3次大阪大空襲に遭い、家族と離れて一人で逃げているときに爆弾の破片で右ひざに大けがを負った兵庫県西宮市の小林英子さん。45年3月13日深夜からの第1次大阪大空襲で父親を亡くした大阪府吹田市の森永常博さん。3歳の時に第1次大阪大空襲で母親と弟を亡くし、自身も顔や手足に大やけどを負った大阪市住吉区の伊賀孝子さん。
8	こんばんはII	その他	令和元年度	37（DVD） 字幕あり	夜間中学校と教育を語る会	夜間中学を追ったドキュメンタリー映画。夜間中学の必要性を様々な角度から訴えており、特に夜間中学に通う生徒、学習者、卒業生に「なぜ、学ぶのか」「どうして夜間中学が必要なのか」をインタビュー等を通して浮き彫りにしていく。